

[wakahara\_08]

活動タイトル	2022北見市民環境フォーラム 「地球温暖化と私たちの未来～ゼロカーボンを学ぼう～」
実施日	2022年11月19日
場所	北見市民会館小ホール（北見市）
対象数	71人
内容	<p>タイトルは「地球温暖化の現状と対策」—私達にできること—</p> <p>概要：北海道、日本、世界の気温、降水量、海水温、海面の水位、海氷の推移などをグラフで説明。近年これらによる異常現象が急増しつつあること。また、オホーツク地方の気候の特徴と最近の異常気象については、玉葱などが不作となった昨年夏の干ばつ時の気象状況を例に6.7月の気温と降水量の時系列から記録的高温・少雨であったことや2019年5月の佐呂間の記録的高温の事象、特に高温は2000年代になって急増していることを紹介しました。また、流氷消失の恐れや生態系消失数が増加しており、このような異常気象は緩和策を取らなければ更に拡大し、とり返しの効かないことになることなどを強調。そして個人からあらゆる階層で行動する必要があること、産業革命以降の気温上昇を1.5℃に押さえる必要性などをIPCCの報告書にある資料を基に危機感を訴えました。温暖化防止の対策としては、緩和策と適応策があり、この2つに、私たちが身近な脱炭素行動をとることと気象災害から身を守る知識と行動が関係していることも紹介しました。温暖化防止活動→節約→温室効果ガス減→異常気象減→命が守れる→平和になる。まさにこの行動は「一石？鳥」にもなります。また、年間節約金額が見えるように「身近に出来る温暖化防止対策（家庭で出来る20の取り組み）」を作成して配付。私たち世代が排出した二酸化炭素によって災害が激化していることに対して、次世代に負の遺産を残さぬよう知識の普及や行動の輪を広げることがいま大切であることを訴えました。参加者は温暖化についての関心が高く、熱心に聴講され質問もありました。資料はPPのスライドとその配付資料、A4の取り組みリスト。講演者3人の資料の内容は当日まで分らなかったもので、事前に概要だけでも共有出来ればと思いました。</p>
実施写真等	